

History of Civil Engineering and Architecture

2 units (selection)

Kojiro WATANABE · ASSISTANT PROFESSOR / GEOTECHNICAL AND GEOENVIRONMENTAL ENGINEERING, DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL ENGINEERING

Target) 新たな社会資本や建築物を創造するためには、過去、どのような提案が行われてきたのかを知ることが重要である。本講義では、社会資本と建築物の歴史を学ぶことで、様式と技術の変化を知り、新たな創造につなげる基礎とする。

Outline) 各時代に建設されてきた代表的な社会資本、建築物等を紹介し、その様式と特長について、当時の社会情勢と対比させながら解説する。

Keyword) 土木史, 建築史

Fundamental Lecture) “History of Civil Works and Human Living”(1.0)

Requirement) なし

Notice) 建設工学科屋間コースの学生は、卒業単位に含まれない。

Goal)

1. 過去の代表的な建築物の様式と特長を理解する
2. 近代社会資本整備の流れを理解する

Schedule)

1. ガイダンス, 日本建築史 1 社寺建築
2. 日本建築史 2 日本人建築家の誕生
3. 日本建築史 3 様式建築とモダニズム
4. 日本建築史 4 日本建築界からの発信
5. 試験 1(日本建築史)
6. 試験 1 の返却と解説, 西洋建築史 1 教会建築
7. 西洋建築史 2 産業革命と建築
8. 西洋建築史 3 伝統様式からの脱却
9. 西洋建築史 4 近代建築
10. 西洋建築史 5 3 人の巨匠
11. 試験 2(西洋建築史)
12. 試験 2 の返却と解説, 建築史まとめ
13. 近代社会資本整備とくらし
14. 近代社会資本整備と国土の安全
15. 近代社会資本整備と経済活動
16. 近代社会資本整備と課題

Evaluation Criteria) 合格のためには、建築史分野は試験 2 回分の合計点、土木史分野はレポートの点数が、それぞれ 60 点以上であることが必要である。総合評価点は、建築史分野、土木史分野の合計点を 100 点満点に換算して算出

する。

Jabee Criteria) 成績評価と同じである。

Relation to Goal) 本科目は本学科の教育目標の 6 に 100% 対応する。

Textbook) コンパクト版建築史【日本・西洋】、「建築史」編集委員会編著、彰国社

Reference) 適宜紹介する

Webpage) <http://www.ce.tokushima-u.ac.jp/lectures/N0035>

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216235>

Student) Able to be taken by student of other department and faculty

Contact)

⇒

Note) 授業を受ける際には、2 時間の授業時間毎に 2 時間の予習と 2 時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。